

## 特集

### 年初から重要な報道が

### 2件ありました！

もう、2月。あつと言う間に2月になってしまいました。ペースアップして行きましよう。

まず一件目の報道ですが、こちらは1月18日の「報道ステーション」で放映された為に、多くの方々の目にとまったことでしょう。福島県須賀川市にある藤沼湖は、3・11の際に決壊し、地域に大きな被害を与え、その事実から政府（農水省）が、緊急性がある、即ち近隣住民に影響を及ぼすと思われる全国約3,000箇所のため池の耐震調査を指示したところ、なんと1,787箇所が耐震不足と判定されたとのこと。実に6割にのぼります。6割と言えはとてつもない確率ですが、全国でもっともため池の多い兵庫県では9割が耐震不足と判定されています。



<https://jcc.jp/news/11812429/>



ため池の全国分布図

ため池は全国に約200,000箇所あると言われ、特徴としてその7割が江戸時代以前に作られたものであり、6割が瀬戸内海地区に密集しています。治水が行き届いていない頃、ため池は住民にとっての生命線であり、定期的に部落で補修工事をしてきたようですが、昨今では放置されているものも少なくなく、老朽化し耐震不足問題が表面化してきています。これはため池に限らずダム湖にも言えることですが、周辺から雨などで流れ込んだ土が汚泥化して底に堆積していきまが（堆砂もしくは浚渫土と称する）、水圧よりも大きい加圧となる為、結果、強度に影響を与えてい

るのです。因みに、その昔は、浚渫土は粘性が高いことからそれを掘って、壁面の補強材として再利用していたようです。

ではこの緊急性のある1,787箇所は直ぐに耐震補強工事が実施されたのか、との答えは自治体によってその進捗度は異なるものの、ほぼ進んでいないのが現実で、その一番の要因は予算です。江戸時代の以前から部落で補修をしてきていることから、現状では自治体により差異はあるにせよ予算付けされた費用ではなく、補助金として実施されて来ているからです。ただ、繰り返しになりますが、自治体によってはその緊急性や絶対数の多さから、またこの様に報道として国民の目にとられる、つまり社会問題の一つとして認識され、今後は予算付けされて行くようになると思われるのが自然な流れと想われます。

二件目の報道ですが、これは小さく報道されましたが、実はとてもインパクトのある報道です。1月9日の毎日新聞です。要すれば「再利用基準は100ベクレル以下であり、除染土の再利用基準を8,000ベクレルまでとするとは認めていない」と言う内容で、まだまだ復興への道のりは長いと痛感させられる報道です。

先月号でお伝えした通り、今までの除染廃棄物が東京ドーム18個分であり、これから始まるため池、ダム湖、河川の除染事業から排出される分を足すと天文学的な数量のほりります。再利用することで中間貯蔵庫の必要キャパを減らそうとする動きは、環境省が中心になって以前より進めてきており、今ごろベクレル基準を念押し、と言うか再認識させること自体に疑問を持たざるを得ませんが、中間貯蔵庫問題のハードルがまた一層上がることになった報道です。



<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170109-00000007-mai-sctch>

さて、ここで我がセルドロンです。セルドロンは「対象を有機・無機物を問わず、瞬時的に効果を発揮し、環境に負荷を与えず、固液混合体の流動性を低下させる」特徴を持っています。この唯一無二の強みを、大学研究機関と研究し、そして民間セネコン各社と新しい技術を開発していく。その結果として、これらの社会問題解決の一助となる得るのがセルドロンだと自負しています。今後の飛躍に大きく期待して下さい。

# TOPICS 1

## 残コンにセルドロン

奥村組にて現場で残コン用途で活用いただきました。

当初は、他の製品を使用して残コン処理を検討していたようですが、その製品が販売中止になっており、代わる製品として弊社のセルドロンが選ばれました。

現場はすでに動いており、前日の残コンは硬化破壊処理をしていました。

従来・硬化破壊処理



呼び強度が42N/mm<sup>2</sup>と強度は高めになっており、破壊するにも大変です。それに比べて、セルドロンを混合して造粒させた場合は、処理がとても簡単です。

# TOPICS 2

## 雪の積もる福島にて現場見学

とある工事現場の見学をさせていただきました。現場では、場所打ち杭を実施するためにいろいろな準備をしてました。

新技術：セルドロン（右）  
セルドロン処理2（左）



地面を掘削する際には、含水率の高い土壌が発生するようで、今後セルドロンが活用できるかもしれません。

また、この隣の現場では3次元マシンコントローラが搭載されたブルドーザが動いておりました。暗い中でも作業が出来てしまうようです。

初めて「Construction」に対応するブルドーザを見ました。かなり遠くからですが・・・。



CT対応ブルドーザ

## キム・ギョンの 「ラムウォーナー」 韓国の暖房とせう。

最近雪がよく降ってからだんだん寒くなっています。最近のような寒い天気に必要なことこの暖房です。それで今回は韓国の暖房を簡単に紹介します。

韓国の伝統的な暖房ではオンドルがあります。台所のかまどに火を焚くと火気が床の下で通り過ぎて部屋全体を暖かくする方式です。

最近はおンドルを直接使うには不便な点がたくさんあるから、ほとんどの家庭がオンドル式ガスポイラーや灯油ポイラーを利用します。ポイラーで床を暖かくして冬にも簡単な服で生活ができます。

床以外にも風呂とかもポイラーを利用します。韓国の家はポイラーが基本なのでポイラー以外に基本的には暖房が設置されていないです。

最近暖房費がたくさん出るの日本のこたつを利用する人も少しずつ増えています。

\*原稿の原文そのまま掲載しております。